

2024FIM アジア国別対抗戦第2戦 台湾大会

かたぐち みづき

片口神月選手が Race1 で 1 位、Race2 で 2 位を獲得し、日本が総合優勝！

2024年10月12日(土)～10月13日(日)にリーパオ国際カートコース（台湾）にて開催された“2024FIM アジア国別対抗戦第2戦台湾大会”に日本代表ライダーとして派遣された片口神月選手（15歳）が、Race1 で1位、Race2 で2位を獲得し、日本が総合優勝を果たしました。片口神月選手、おめでとうございます。

なお、日本は第1戦ウィメンズ・オブ・サーキットレースにおいても藤原雫花選手が総合優勝をしております。



▶ **練習・予選:** 練習では、台湾（2名）、フィリピン（2名）、インドに次いで6番手タイムで走行終了。予選では、台湾選手2名が1番手、2番手タイムとなり、次いで片口選手が3番手タイムとなりました。

▶ **Race1 :** 片口選手はトップ集団で周回を重ね、先行していた台湾とフィリピンのライダーのミスを見逃さずトップに浮上。最終ラップで台湾選手の追い上げもありましたが、見事逃げ切り優勝しました。

▶ **Race2 :** 片口選手は序盤からトップを走行し、すぐ後ろに台湾、フィリピンが追走。徐々に後続との距離を広げるが、台湾選手がベストラップで走行し、最終ラップに片口選手を抜いてトップに立ちました。その後、最終コーナーからゴールラインまで並ぶような形でチェッカーとなり、惜しくも片口選手は2位となりました。

◆片口神月選手のコメント

初めての国外レースで、不安なことも多々ありましたが、無事帰国することができました。

サーキットの路面や、初めて乗るバイク、タイヤの性能など、早めにアジャストさせることができ、総合優勝をすることができて良かったです。今回のレースで、様々なことを経験することができ、これから先にとっても役立つと感ずることができました。

【大会概要】

本大会は、アジア圏内のライダーレベル向上、特にアジア各国に於ける若いライダーの交流促進を主目的として設立された国別対抗戦で毎年開催されています。各国代表ライダーは最大2名までとし、どちらかの良い成績がポイントとして反映されます。これはライダー1名での参加も可能とするものであり、より多くの国の参加を促すことを目的としています。

開催日：2024年10月12日(土)～13日(日)

開催地：リーパオ国際カートコース（台湾）

使用車両：YAMAHA R15（150cc）

このリリースに関するお問い合わせは……

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒104-0045 東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10F

Tel: 03-5565-0900 / email: mfj@mfj.or.jp